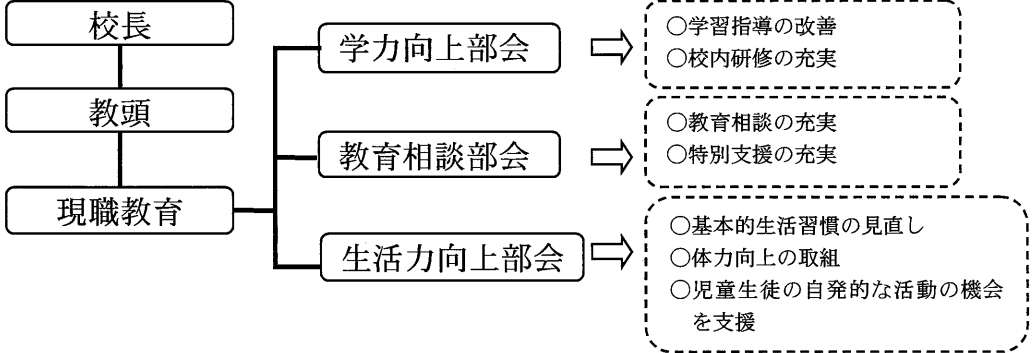


## § 2 研究主題

<p>学 校 名</p>	<p>九 度 山 町 立 河 根 小 中 学 校</p>
<p>研 究 主 題</p>	<p>人・地域に学び、自立へ向かおうとする児童生徒の育成 ～個を大切にした教科指導、人との関わりを通して～</p>
<p>主 題 設 定 の 理 由</p>	<p>本校は豊かな自然に囲まれた山間に位置する小学校と中学校が隣接した小規模校である。児童生徒はゆったりと落ち着いて学校生活を送っており、日々の学習や部活動にも大変真面目に取り組んでいる。近年の少子化に伴い、校区内の児童生徒が次第に少なくなり、反面、校区外から、本校のような小規模校で、少人数の静かな学習環境を希望して、転入や転校をしてくる児童生徒が増えてきた。</p> <p>不登校の経験や学習のつまずきを抱えた児童生徒も多く、近年は「学びに向かう力の育成」を主題に、学校で学ぶことは楽しいことだと感じてもらえるように、興味関心のあることを教材にした授業、できたという自信を持たせるスモールステップの授業など、個に合わせた学習指導方法を研究してきた。また、児童生徒の特性を全職員で共通理解しながら、仲間作りを進めてきた。その結果、個人差はあるが、勉強することは大切だ、勉強がわかると嬉しいという気持ちが育ってきた。また、様々な体験を通して児童生徒間の関係性や教師との信頼関係が形成され、「チーム河根」として仲間を大切にすることが育ってきたと感じている。</p> <p>今年度は中学校に新たに5名の入学生を迎え、小学生1名、中学生12名の小中合わせて13名となった。それぞれ気持ちの優しい素直な児童生徒達であり、少人数の中で学び直しをしたい、自分に合ったペースで学習し、学校生活に慣れていきたいと思っている児童生徒達である。個々の学習状況や課題が様々であるため、昨年度に引き続き「個を大切にした教科指導」を心がけ、個の特性を理解し、配慮しながら、わかる授業、学ぶことが楽しいと思える授業づくりを研究したいと思う。そして、特別な支援の必要がある児童生徒については、個の学習上の特性を見極め、学習支援の具体策を研究し、担当者で連携しながら、より効果的な指導をしたいと思う。また、引き続き、「みんな遊び」や運動会、文化祭などの様々な学校行事、総合的な学習の時間などの自主的な活動を通して、児童生徒の絆を深め、個性を認め合える関係性を築き、安心して学校へ登校できるようにしたいと思う。さらに今年度は、これらの活動において、地域の人と積極的に関わる機会を設け、将来、社会に出ていくために必要な社会性や自立に向かう力の育成を促したいと思う。</p> <p>このようなことから今年度の主題を上記のように設定した。</p>

<p>研究内容</p>	<p>1 確かな学力の向上</p> <p>(1) 「学びに向かう力」を育成するための授業内容や指導方法の研究</p> <p>(2) 個の特性に合わせた学習指導方法の研究</p> <p>(3) 思考力・判断力・表現力の育成のための授業方法の研究</p> <p>(4) 読書習慣をつけさせるための手立ての研究</p> <p>(5) 家庭学習を充実させるための手立ての研究</p> <p>2 豊かな心の育成</p> <p>(1) 特別支援教育の効果的・具体的な授業方法の研究</p> <p>(2) SC、SSWと連携した教育相談体制の充実</p> <p>(3) 豊かな心を育て、よりよい生き方を考えさせる道徳教育の研究</p> <p>3 健康安全教育の推進</p> <p>(1) 生活リズムチェック表を使った基本的な生活習慣の見直し</p> <p>(2) みんな遊びや部活動を通しての体力向上と仲間づくりの研究</p>
<p>研究組織</p>	 <pre> graph TD     A[校長] --&gt; B[教頭]     B --&gt; C[現職教育]     C --&gt; D[学力向上部会]     C --&gt; E[教育相談部会]     C --&gt; F[生活力向上部会]     D --&gt; G["○学習指導の改善 ○校内研修の充実"]     E --&gt; H["○教育相談の充実 ○特別支援の充実"]     F --&gt; I["○基本的な生活習慣の見直し ○体力向上の取組 ○児童生徒の自発的な活動の機会を支援"] </pre>
<p>研究方法</p>	<p>○学力向上部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員で、学びに向かう力を育成するための指導法や自分の考えを伝える力を育成するための指導法の研究の推進に努め、中間期検証、年度末検証を行い、取組の状況や効果を共有し、研究を進めていく。また、各学年で年1回校内研究授業を行う。</li> <li>・子どもの特性に合わせ、特別支援教育の視点を持った学習指導のあり方、具体的に効果的な教材を研究し、支援学級の教科担当者で定期的に集まり、情報交換、見直しを行う。</li> <li>・全国学力・学習状況調査や町標準学力検査、県学習到達度調査の結果、普段の授業の様子を通して個々の学習課題を明確にし、指導法の工夫・改善を図る。</li> <li>・家庭学習の充実、読書習慣をつける取組について研究し、実践する。</li> </ul> <p>○教育相談部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に支援会議を行い、個々の特性を共通理解し、児童生徒の発達をどう支援していけばいいか全職員で検討する。</li> <li>・必要に応じてケース会議を行い、早急かつ、柔軟に対策を検討する。</li> <li>・SCによるカウンセリングを児童生徒や保護者に対して計画的に行う。</li> </ul> <p>○生活力向上部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一週間の生活リズムチェックを行い、基本的な生活習慣の見直しと適切な指導をする。</li> <li>・毎週火曜日の昼休憩に体力向上プログラムを行い、健康の維持と楽しい体力づくりを実施していく。</li> <li>・みんな遊びや行事など、児童生徒が主体的に考えて活動することを通して、自主性を育てる。</li> </ul>